日常生活と放射線

放射線の量（マイクロシーベルト）

引き上げ後の上限
[250,000マイクロシーベルト/年]

プラジル・ガラパルの放射線（年間、大地などから）

[10,000マイクロシーベルト/年]

宇宙から0.39
食物から0.29
大地から0.48
空気中のラドンから1.26

[2,400マイクロシーベルト/年]
国内自然放射線の差（年間）（県別平均値の差の最大）

[400マイクロシーベルト/年]
東京→ニューヨーク航空機旅行（往復）（高度による宇宙線の増加）

[200マイクロシーベルト/往復]
再処理工場からの放射線物質の放出による評価値（年間）

[22マイクロシーベルト/年]
クリアランスレベル導入の線量目安値（年間）

[10マイクロシーベルト/年]

引上作業従事の場合に認められている上限
[100,000マイクロシーベルト/年]
放射線業務従事者及び防災に係る警察・消防従事者に認められている上限

[50,000マイクロシーベルト/年]
脑部X線コンピュータ断層撮影検査 (CTスキャン) (1回)

[6,900マイクロシーベルト/回]

一般公衆の線量限度（年間）（医療は除く）

[1,000マイクロシーベルト/年]
胃のX線集団検診 (1回)

[600マイクロシーベルト/回]

[50マイクロシーベルト/回]
胸のX線集団検診 (1回)

[50マイクロシーベルト/年]
原子力発電所（乾燥炉間）周辺の線量目標値（年間）（実際ではこの目標値を大幅に下回っています）

※ Sv【シーベルト】=放射線の種類による生物効果の定数（※）× Gy【グレイ】

資源エネルギー庁「原子力2002」をもとに文部科学省において作成

※ X線、γ線では 1